



日本学術振興会カイロ研究連絡センター定期懇話会(2014年度第5回)のお知らせ

- ◆ 日時：2015年3月26日(木) 18:00開場 18:30発表 20:00懇親会 21:00閉会
- ◆ 場所：日本学術振興会カイロ研究連絡センター多目的集会室

- ◆ 発表：「エジプト文化財保存史の新たな構築をめざして」

長谷川 奏 はせがわ そう(日本学術振興会カイロ研究連絡センター長)

エジプト文化財保存の問題は、近年では政府省庁、国際機関、研究機関、NGO等さまざまな事業体が複合し、発信される政策は片田舎の遺跡にまで浸透していく。文化財の活用は、1990年代の後半以降、さらに国家の経済戦略と深く結びついていった。本発表では、考古学に携わる者が、エジプトの文化財保存史をどのように編み直すことができるかを再考し、長期政権崩壊期直前の文化行政の特徴を、カイロ(首都圏)とルクソール(地方都市)の事例から位置づけてみる。また2011年以後の4年間の社会的混乱は文化財に甚大な被害をもたらしたが、その中でも最も気掛かりな動向をいくつか取り上げて、まとめに代えたい。

- ◆ 今回の発表では、4月より着任の新任センター長が司会・進行を務めます。
- ◆ 参加：参加者は、氏名を明記の上、発表(聴講無料)および懇親会(20LE)の申込内容を、メール(JSPSlecmnet@gmail.com)あるいは電話・Fax.(02-2736-3752)に、発表日前日までにお伝え下さい(収容人数の関係上、参加者は40人までに限らせて頂きます)。

注) 本定期懇話会を円滑に進めるために、事前に参加人数を事務局が把握し、懇親会は参加費支払型にしております。ご理解頂ければ幸いです。

日本学術振興会カイロ研究連絡センター
JSPS Cairo Research Station
Flat no.4, 9 al-Kamil Muhammad Street
Zamalek, Cairo, Egypt
Tel. Fax. 02-2736-3752

